

豊かな心の育成推進プラン

重点取組分野	具体的取組
道徳・人権教育	・子どもの実態をもとに教科書等を活用しながら授業を行い、共通内容での全校一斉道徳授業を実施します。指針1「道徳の時間」の充実・行事や特別活動等に関連する内容を選択し、それぞれの学年の発達段階に応じて人権意識の高揚に努めます。指針2「人権教育の充実」を図ります。
担当	学習指導部

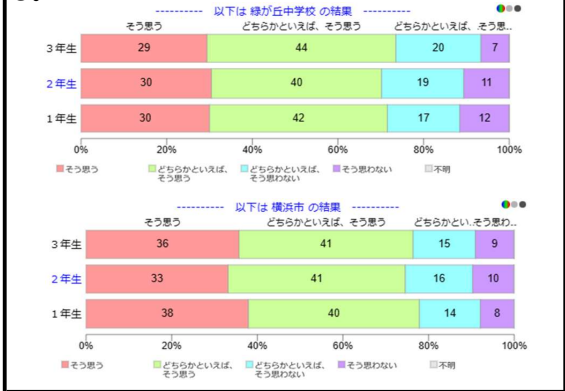
豊かな心に関わる本校の状況

(1) 豊かな心に関わる児童生徒の実態

- ・緑豊かな環境の中、生徒は落ち着いて生活している。学習状況は「市平均」を目指すという状況であるが、どの教科もおおむね堅実に取り組んでいる。
- ・部活動が盛んであり、加入率も高く、「あいさつ・規律・努力の尊さ」など学ぶことは非常に多い。
- ・対人関係においてコミュニケーションに課題が見られる場面がある。また、将来への展望や目標がやや希薄である。規範意識はもちつとも、日常生活にしっかり根付いていない点が課題である。
- ・「自分にはよいところがあると思いますか」という項目について、「そう思う」「どちらかと思えばそう思う」と回答している生徒は、横浜市平均と比べると、どの学年も下回っている。道徳の授業を通して、自己受容、他者理解、人間理解を深め、自分のよさに気づいていくことができるような授業を展開し、生徒一人ひとりの自己有用感を高めていく必要がある。

(2) これまでの学校の取組状況

- ・職員研修や、ローテーション道徳を通して、道徳の授業の基本的な進め方を職員全体で学んでいる。
- ・朝会で職員が講話を行い、生徒は道徳ノートに学んだことを書くことで、自己理解を深める活動を行っている。



今年度の目標

○道徳的価値についての理解を基に、主体的に考え、多面的・多角的に議論する道徳科の授業を展開する。

目標を実現するための具体的行動プラン

上半期

道徳科を要とした教育活動全体を通じた道徳教育

- ・教材のねらいに即した学習課題を設定し、問題解決的な学習過程を工夫する。
- ・ICTを活用したり、ホワイトボードや心情円を用いたりして、情報や心の変容を可視化するなど、授業展開を工夫する。
- ・役割演技や模擬体験など、学んだことを実際の生活の中で実感できる指導を工夫する。
- ・「道徳ノート」を活用し、生徒の気持ちの変容をみとり、評価や授業展開の改善にいかす。

下半期

道徳科を要とした教育活動全体を通じた道徳教育

- ・教材のねらいに即した学習課題を設定し、問題解決的な学習過程を工夫する。
- ・ICTを活用したり、ホワイトボードや心情円を用いたりして、情報や心の変容を可視化するなど、授業展開を工夫する。
- ・役割演技や模擬体験など、学んだことを実際の生活の中で実感できる指導を工夫する。
- ・「道徳ノート」を活用し、生徒の気持ちの変容をみとり、評価や授業展開の改善にいかす。
- ・ローテーション道徳を全学年で行い、授業力向上や評価について共通認識をもつ。